



南小だより



柳井市立柳井南小学校
令和5年11月号

柳井南小の誇り！和太鼓「皆波」を演奏する子どもたち！！



11月2日(木)、柳井市小中学校音楽会がサンビームやないで行われました。本校からは、4・5・6年生28名が参加し、和太鼓「皆波」を演奏しました。28名による演奏は、圧巻で、会場いっぱいに心をつににした太鼓の音が響き渡りました。和太鼓「皆波」の作曲者は中市博之先生で、今も太鼓の指導をしていただいています。2005年、阿月小学校と伊保庄小学校が統合したとき、「みんなで力を合わせて、伝統を引き継ぎ、すばらしい学校をつくっていこう。」という思いで作曲されたと伺いました。統合から18年目を迎えましたが、今年も伝統を引き継いだ「ふるさとを愛する南っ子」が、ステージで輝きました。

11月11日(土)10:00~のかがやき発表会当日には、太鼓発表や太鼓引き継ぎ式も予定しています。ぜひご覧ください。

地域と連携した 人権教育参観日・講演会



10月24日(火)、地域と連携し、人権教育参観日・講演会を実施しました。全学年、人権にかかわる授業を実施し、保護者や地域のみなさまに参観していただきました。



4・5年生の授業では、市役所、ゆうわ苑、伊保庄苑、松風苑からゲストティーチャーとして7名の方にお越しいただき、認知症について学習しました。声をかけたり、大人の人に助けを求めたりする体験を通して、認知症についての理解を深め、子ども自身が自分事として考えることができたようです。



講演会では、太鼓指導者の中市博之先生に、演奏を交えながら、人との出会いや言葉のもつ力などについて、児童にも分かりやすく語っていただきました。



多数のご参加、ありがとうございました。私たち教職員も学んだことをこれからの教育に生かしてまいります。